

私が滞在しているイギリス南部では、冬でも夏と変わらず相変わらずどんよりとした天気がつづきました。快晴はかなり稀で、雨の降りそうな天気が続く感じです。それでも 3 月にはロシアからの寒波の影響で、雪がふり、気温は氷点下に達する日もかなりありました。

イギリスでは空調設備があまり一般的ではないので、寮ではヒーターや毛布を使って皆寒さをしのぎました。



さて、私がイギリスに来てから半年以上が立ち、授業や寮での生活にはもうかなり慣れてきましたが、来年度の大学アプライに向けて、少しずつ緊張感が増してきていると感じています。イギリスの受験の一環は私の学校では、春休み後からもう始まります。

まず初めに学校で各科目の今まで習ってきたことについての試験を受け、その結果をもとに Predicted Grades という成績を与えられ、自分の志望作文（いわゆる Personal Statement）と先生からの評価とともに5つの大学に応募します。

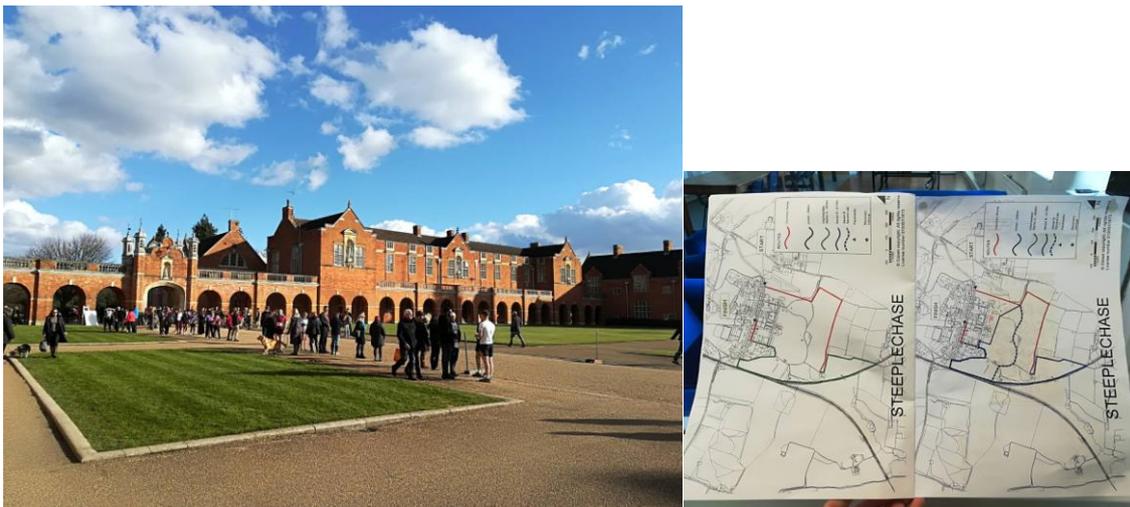
その後は各大学によりますが、一般的には Aptitude test というテストを受けたり面接作文を経て、最後に大学側から来年度末テストで最低限の成績を伝えられ、その成績を超えたら合格となります。

その最終段階までにほとんど半数の人数まで落とされるので、今この期間は、各科目の勉強のみならず、読書や課外活動などが重要になります。個人的には、継続的に読書をする習慣があまりなかったのが、本を読み要約し自分の考えを各科目の先生に提出するという一連がとてつらかったです。

この春の学期には、持久走大会やアカペラ、演劇の寮対抗のイベントがありました。

持久走大会では、学校のラグビーピッチを周回するだけで4 kmと改めて学校の大きさに驚かされました。また、雨のせいで芝が泥まみれで障害物競走のように走りづらかったです。

私の寮は優勝し、先生からドミノピザをおごってもらうなど盛り上がりました。



先週の週末は、イースターでした。私のホストファミリーでは、卵型のチョコレートのほかにラム肉を食べました。聖書の話に関連して、羊の肉を食べるのが伝統のようです。



日本とはまた違う季節のイベントを楽しむことができました。